

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------------------------|--------|--------------|
| ○事業所名 | スペシャルニーズ タイニートツ・モジラ (放課後等サービス) | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和 6年 9月 4日 | ～ | 令和 6年 10月 4日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) 9 | (回答者数) | 9 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和 6年 9月 4日 | ～ | 令和 6年 10月 4日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) 7 | (回答者数) | 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 6年 11月 1日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | ・ご家族のご要望に対する柔軟な対応 | ・受け入れ態勢(送迎の時間や利用曜日の変更等)のついて、柔軟に対応しています。また、欠席時の振替利用のご提案や、延長支援の利用によるご家族の就労支援を図っております。きょうだい児についても、イベントへの参加やきょうだい児同士の交流の場を提供致します。 | ・土日の受け入れ等レスパイト支援に力を入れていきます。またきょうだい児に対する支援(きょうだい児同士の交流の機会や保護者の相談支援等)について、さらに取り組みを強化していきます。 |
| 2 | ・専門的な職員の配置 | ・配置基準に応じた職員を配置することはもとより、作業療法士による専門的支援計画に則った、個別の支援を行います。 | ・保育、看護、セラピスト等それぞれの視点から個別支援や活動の計画を強化致します。 |
| 3 | ・家庭的な雰囲気 | ・毎日過ごしている空間「みんなの家」をコンセプトにしています。決してゆとりのある空間ではありませんが、活動内容や子ども達の状況に応じ、過ごす場所について工夫を行っております。 | ・心身ともに近い距離での濃密な関わりを行いながら、本人やご家族との信頼関係の構築を図ります。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ご家族との信頼関係の構築が始まったばかりである。 | <ul style="list-style-type: none"> 今年度、開所したばかりの事業所である。 | <ul style="list-style-type: none"> 利用児ごとに、担当の職員を配置しています。担当者会議等には、児童発達支援管理責任者だけでなく、担当職員も出会わせていただきます。日頃の連絡や伝達について、細かなやりとりをさせていただき事で、信頼関係の構築を図っていきます。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> 医療的ケアを必要とする子ども達と関わることについて、経験が少ない職員が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 個別の特性（好きなことや得意なこと）のアセスメントが不十分な点がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 月1回茶話会を開催しています。その中で、保護者の想いやご要望、また、本人の様子についてお話を伺います。また、定期的に面談やモニタリングを行います。丁寧なアセスメントを重ねることで、ケアに対する内容はもちろん、活動（集団・個別）の立案にも活かしていきます。 |
| 3 | | | |